

加藤 / 本の内容を話す。

書いたきっかけを。

副題がある。

≠死ぬまで幸せに生きる
方法を書いた。

現代は快適だけど、

体の大切な機能の

おとろえもある。

その機能を呼びもとどそう

ということを書いた。

情報過多で辛いことも。

感覚を休ませたほうが

よい面もある。

歴史を学ぶのも大切。

これらが本を書くきっかけ。

1章は味覚から始まる。

他の本は視覚が多い。

④などは論じやすい。

私^のは機^能実感のともなう

ところから始めた。

触覚は複雑で

数値化しにくい。

胎児は触覚がある。

もっとも フォリニティブな

かんかく。